



一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

(100点)

西山小学校の児童会では、町を訪れる観光客のために、町のよいところを伝えるパンフレットを作ることになりました。

次は、その材料をまとめた

メモ

と

パンフレットの案

です。

メモ

1 江戸時代の町なみを楽しめる

○約三百メートルの寺町通り

2 江戸時代のふんいきを味わえる

○五月に行われる西山江戸まつりでは、大名行列を再現したイベントがあり、観光客も参加できる。

3 町なみはいつごろできたか

○江戸時代、交通の要所として栄え、多くの店が集まった。

○江戸時代末期に大火事があり、大切なザイサンを火事から守るため、蔵造りの建物が多く建てられた。

4 名物料理のしょうかい(焼き団子)

○地元の米を使ったデントウの味

○炭火で焼いたしょう油味のこうばしいかおり

○もちもちの食感

パンフレットの案

西山町観光案内

① 江戸時代のふんいきを味わおう！

駅の西口を出ると、江戸時代の町なみが残る「寺町通り」が約三百メートル続きます。「寺町通り」では、五月に「西山江戸まつり」が行われます。大名行列を再現したイベントがあるので、観光客のみなさんも参加してみてください。そして、江戸時代のふんいきを味わいましょう。

② 町なみの歴史を知ろう！

江戸時代に、交通の要所とし栄えた西山町には、多くの店が集まりました。

この地域には、名物料理がたくさんあります。中でもおすすめるのは、地元産の米を使った「焼き団子」です。

もちもちの食感と、炭火でじっくり焼いたしょう油のこうばしいかおりが最高です。

ぜひ、焼き団子を味わいながら、散策を楽しんでください。

(1) つぎの言葉の意味を考え、正しいものを選びましょう。

(10点×2＝20点)

① 要所

ア 重要な仕事

イ 中心となる内容

ウ 大事な所、重要な場所

エ 宝物

①

② ふんいき

ア 明るくほらかな様子

イ その場の感じや気分

ウ 景色、ながめ

エ 風のいく速さ

②

(2) つぎの の言葉を漢字で書きましょう。

(10点×2＝20点)

① 大切なザイサン

② デントウの味

(3) パンフレットの案

③

つぎのア～エから一つ選び、記号を書きましょう。

(20点)

ア 焼き団子を作ろう！

イ 散策を楽しもう！

ウ 地元の名店をしょうかい！

エ 名物料理を味わおう！

(4) パンフレットの案

を見た人から、つぎの意見が出されました。そこで、②「町なみの歴史を知ろう」の最後に、次の一文を加えることにしました。

出された意見の内容を考え、

にあてはまる言葉を書きましょう。

(20点)

◎出された意見

が多く建てられた

ことが、なぜ、財産を守るにつながったのが、わかりにくいです。

説明を加えた方がよいと思います。

◎最後に加える一文

「蔵造りの建物は、土かべを使っていて、火事に強かったです。」

(5) 次は、

パンフレットの案

について、児童会で話し合いをしている場面です。

(10点×2＝20点)

野原さん ①「江戸時代のふんいきを味わおう！」を担当した田中さんは、どうしてこの小見出しにしたのですか。

田中さん 初めは、「江戸時代の町なみを楽しめる！」にしようと思いましたが、しかし、観光客のみなさんには、町なみを見るだけでなく、「参加する」「味わう」という二つのことを伝えた方がよいと思いました。具体的に言うと、西山江戸まつりで、

ア

を再現するイベントに参加して、

江戸時代の

イ

を味わうという体験を伝えた方が、西山町に興味をもってもらえると思ったということです。

野原さん

なるほど、その二つのことを伝えたいから、

メモ

「町なみを楽しめる」ではなく、「ふんいきを味わおう」という言葉を使ったのですね。



一 次の問題に答えましょう。 (各3点×16＝48点)

(1) 次の 線の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

ア 危ない場所では遊ばない。

イ 腹が立つ。

ウ 服が縮む。

エ 食器を洗う。

オ 逆上がりをする。

カ 感想を記述する。

キ 沿道から応援する。

ク この町は養蚕が有名だ。

ア ない

イ

ウ む

エ う

オ がり

カ

キ

ク

(2) 次の 線の言葉を漢字で書きましょう。

ア ねこのひたいほどの土地。

イ しんかん線に乗る。

ウ 入室をきよかする。

エ いきおいをつける。

オ にわたりのたまご。

カ ゆうびん物を受け取る。

キ おじぞう様にいのる。

ク 生活をかいぜんする。

ク

キ

カ

オ

エ い

ウ

イ

ア

三 次の問題に答えましょう。 (各4点×3＝12点)

(1) 次の文の 線に当てはまる漢字を、下の () から一つ選んで、○で囲みましょう。

ア あついお茶を飲む。 (熱い ・ 厚い ・ 暑い)

イ 時間をはかる。 (測る ・ 計る ・ 量る)

ウ 学問をおさめる。 (修める ・ 収める ・ 納める)

エ 背後から姿をあらわす。 (表す ・ 現す)

オ 山にのぼる。 (登る ・ 上る)

(2) 「不」「未」「無」「非」のいずれかを使って、下の語を打ち消す漢字三字の熟語を完成させましょう。

ア 私は指先が 器用です。

イ このあたりの土地は、 開発である。

ウ 宿泊先では、 常口を確認しましょう。

エ 欠席のため、皆勤賞となった。

(3) 次の二文が正しくつながるように、 にあてはまる言葉を、 () の言葉から選び、 に書きましょう。

ア 昨日夜ふかしした。 、朝からねむい。

イ 弟はきげんが悪い。 、母にしかれたからだ。

ウ 妹は熱が高い。 、食欲はあるようだ。

ウ 彼は、私の母の妹の子です。 、私のいとこです。

(だから・しかし・なぜなら・つまり)



一 次の問題に答えましょう。

- (1) ニつの言葉を組み合わせる複合語をつくり、
() には、読み方を書きましよう。(各10点×3＝30点)

例 (かえりみち)
帰る＋道↓帰り道

① 話す＋始める↓

② 力＋強い↓

③ 雨＋戸↓

(2) 次の文中の主語を、ア～エの中から二つ選り、その記号を書きましよう。(各4点×5＝20点)
(各4点×5＝20点)

① テーブルの 上に みかんが ある。

② 真っ白な いすは 弟の ものだ。

③ ぼくの ペットは 犬の ポチ丸だ。

④ だれも 妹の 料理を 食べない。

⑤ とても おいしい、 ぼくの りんごは。

二 次の問題に答えましよう。

(各6点×5＝30点)

- (1) 次の文中の 線を修飾している言葉を、ア～エの中から二つ選り、その記号を書きましよう。

① 赤い 小さな チューリップが 花だんに さいた。

② 間違えた 字を 消しゴムで ていねいに 消した。

③ 父が 北海道の 祖母に 電話を かけた。

④ 大きな 犬が 太い ほねを かじる。

⑤ 母が スーパーで 真っ赤な トマトを 買った。

(2) () に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字一字を、下の 書きましよう。(各10点×2＝20点)

・ () から火が出る。

・ () が広い。

・ () を貸す。

・ () にどろをぬる。

・ () をはさむ。

・ () はわざわざいのもと。

・ 開いた () がふさがらない。

・ () がすべる。



きずな

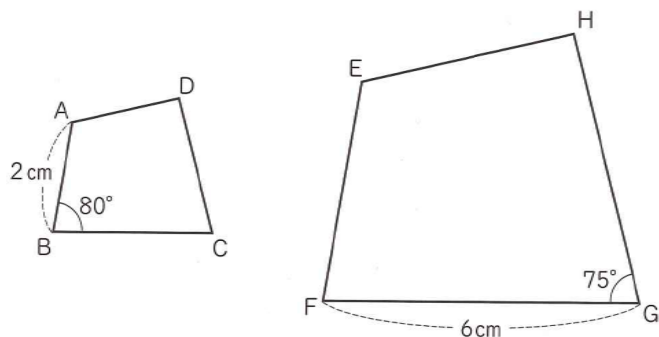
条件
ー クラブ活動、委員会活動、児童会活動、学校行事、学級会活動、ふだんの授業、家庭のお手伝い、習い事、などについて書く。 20点

- 

[illegible]



- 1 下の四角形A B C Dは、四角形E F G Hの
2分の1の縮図です。□にあてはまる数や記号
を書きましょう。



- (1) 辺A Bに対応するのは、 辺 で、

cm です。

- (2) 角Bに対応するのは、 角 で、

度 です。

- (3) 辺F Gに対応するのは、 辺 で、

cm です。

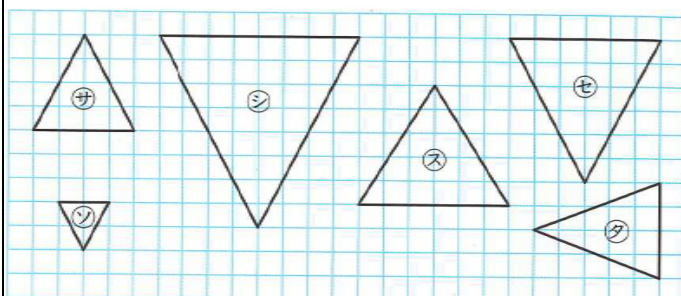
- (4) 角Gに対応するのは、 角 で、

度 です。

- (5) 四角形E F G Hは、四角形A B C Dの

倍の拡大図になっています。

- 2 つぎの図を見ながら問題についてよく考え、
□にあてはまる数や記号を書きましょう。
方眼の1マスは、1 cmとして考えましょう。



- (1) サは、底辺が cm , 高さが

cm の

三角形です。

- (2) サの拡大図になっているのは、

,

です。

- (3) シは、サの 倍の拡大図に
なっています。

- (4) セは、サの 倍の拡大図に
なっています。

- (5) ソは、サの 分の1の縮図に
なっています。



1 円の公式についてふり返り、□にあてはまる言葉や数を書きましょう。

(1) 円の面積 =

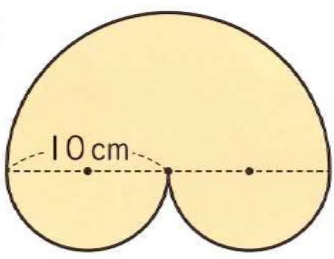
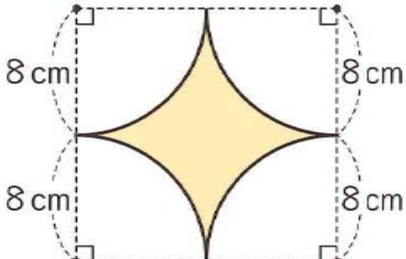
×

×

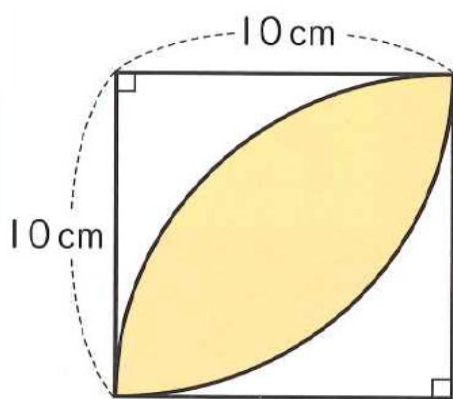
(2) 円周の長さ =

×

2 色を塗った部分の面積と周りの長さを求めましょう。

	①	②
		
面積	[式] [答] _____	[式] [答] _____
周りの長さ	[式] [答] _____	[式] [答] _____

3 つぎの図で、色をぬった部分の面積の求め方を[考え方]に沿って考えましょう。



(1) 「イ」の面積を求める

(式)

「イ」は _____ cm^2

(2) 「ウ」の面積を求める

(式)

「ウ」は _____ cm^2

(3) 「イーウ」の面積を求める

(式)

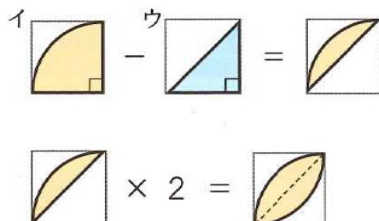
「イーウ」は _____ cm^2

(4) 2倍して

(式)

[答] _____ cm^2

[考え方]





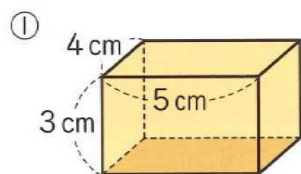
- 1 角柱や円柱の体積を求める公式をふり返り、□にあてはまる言葉や記号を書きましょう。

角柱や円柱の体積 =

[

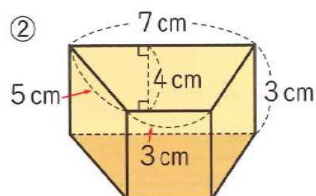
]

- 2 上の公式をつかって、つぎの図形の体積を求めましょう。



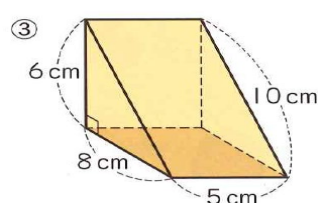
[式]

[答]



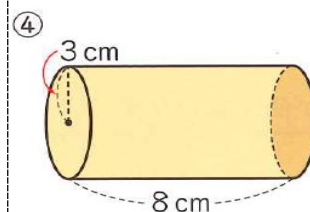
[式]

[答]



[式]

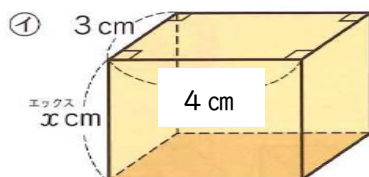
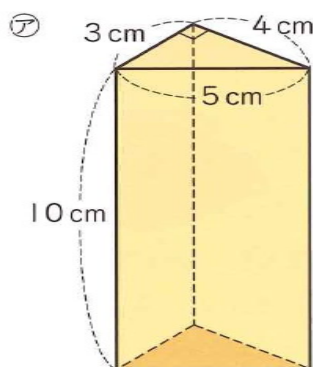
[答]



[式]

[答]

- 3 下のアの三角柱の体積と等しくなるように、イの四角柱をつくります。イの四角柱の高さは、何cmにしたらいでしょう。式を立て、□にあてはまる数を書きましょう。



- (1) ア の三角柱の体積を求める
[式]

アの体積は

 cm^3

- (2) イの四角柱の体積が
になるようにする。

 cm^3

[式] $3 \times 4 \times X =$

X =

X =

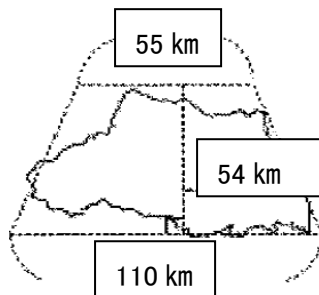
[答]

cm



1 およそどんな形と見られるかを考え、およその面積を求めましょう。

(1) 埼玉県



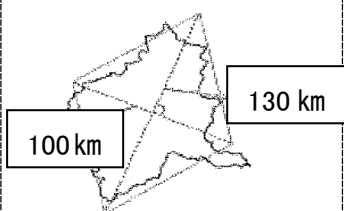
①およその形

②およその面積

(式)

(答) およそ km^2

(2) 群馬県



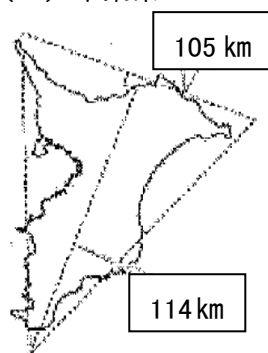
①およその形

②およその面積

(式)

(答) およそ km^2

(3) 千葉県



①およその形

②およその面積

(式)

(答) およそ km^2

(4) 東京都



①およその形

②およその面積

(式)

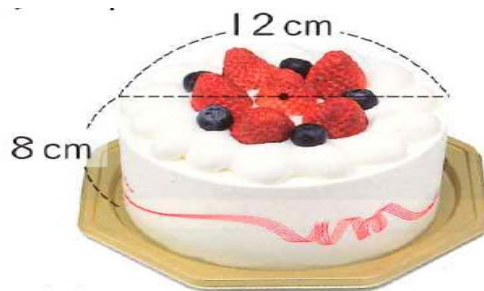
(答) およそ km^2

2 つぎの牛乳とケーキでは、どちらの方が大きいでしょう。およその容積や体積を求めて比べましょう。

(1) 牛乳



(2) ケーキ



(1) 牛乳

(式)

(牛乳の容積)

(2) ケーキ

(式)

(ケーキの体積)

(3) ちがい

(式)

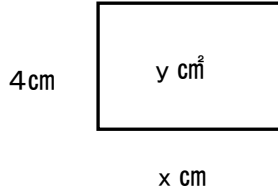
(答) _____ の方が、 _____ だけ大きい。



つぎのア、イの2つの数量 x , y の関係について考えましょう

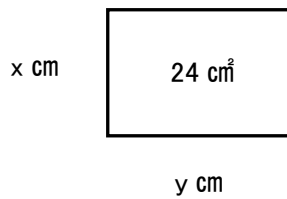
{ } の中の正しいものを○でかこみ、□の中には式を書きましょう。

ア 縦の長さが4 cmの長方形の、横の長さ x cmと面積 y cm^2



横 x (cm)	1	2	3	4	②	6
面積 y (cm^2)	4	8	①	16	20	24

イ 面積が24 cm^2 の長方形の、縦の長さ x cmと横の長さ y cm



縦 x (cm)	1	2	3	4	5	6
横 y (cm)	24	③	8	6	④	4

(1) y が x に比例しているのは、{ ア , イ } です。

y を x の式で表すと、

$y =$

となります。

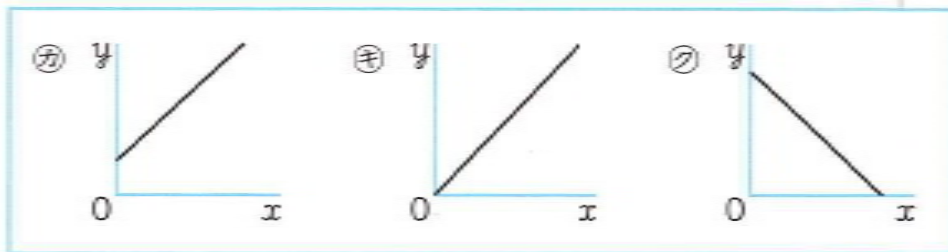
(2) y が x に反比例しているのは、{ ア , イ } です。

y を x の式で表すと、

$y =$

となります。

(3)



① アをグラフに表したものは、{ カ , キ , ク } です。

② イをグラフに表したものは、{ カ , キ , ク , ここにはありません。 }

(4) 表の中の番号の所にあてはまる数を、下の□に書き入れましょう。

①

②

③

④